

		ものづくり産業の振興施策		
		網掛け：産業振興条例による中小企業競争力強化促進事業		
主な施策	技術力向上	コンサルタント等招へい支援	アドバイザー派遣	工業試験場による生産管理・品質管理研修など
	製品開発	市場対応型製品開発支援		
	人材確保	産業人材育成・確保支援	一般求職者 呼び戻し (UIターンフェア等)	高校生～学生 企業理解 (バスツアー等)
	販路拡大	マーケティング支援	商談会出展や逆見本市開催	

## 2 ものづくり産業分野への主な取組

### I 自動車関連産業

#### 技術力向上

- AIやIoTなどの先端分野や生産・品質管理研修の開催
- 次世代自動車関連部品の分解・分析会の開催
- 企業の課題解決に向けた取組を支援するエキスパートの派遣、成功モデルセミナーの開催
- 「ものづくり産業アドバイザー」による指導（2名委嘱 前デンソー北海道社長、前アイシン北海道社長）

#### 販路拡大

- 東北各県との合同による展示商談会の開催（2021.2 トヨタ）
- 道内大手自動車メーカーとの逆見本市の開催（2020.2アイシン北海道）



「北海道自動車関連企業ガイドブック」(2019.1)



北海道発寒冷地対応超小型EV「ネイクル」のPR



「参入交流会」の開催（2018年11月 いすゞエンジン製造北海道）北海道・東北の35社・団体 50名が参加

「とうほく・北海道 新技術・新工法展示商談会」への出展（2020年1月 トヨタ本社）北海道から11企業・団体が出展

#### 北海道自動車産業集積促進協議会（HAIA）

- 設立：平成18年（2006年）8月
- 構成機関：行政・支援機関や自動車関連企業（268会員 R3.3現在）
- 代表：北海道知事、北海道経済連合会会長

#### 【講演会等の開催】

- ・令和2年（2020年）10月5日
- ・次世代モビリティ理解促進フォーラム
- 演題① Mobility Innovation
- 演題② CASE時代における自動車部品のこれから

### II 健康長寿関連産業

#### 機運醸成

- 道内ものづくり企業のヘルスケア関連産業への参入に向けたセミナーや、医療現場のニーズ発表会を開催（2020.1 参入セミナー 2021.4 ニーズ発表会）



ヘルスケア参入セミナー（2020.1）

#### 技術力向上

- 専門家の派遣によるアドバイスや、研修会の開催による競争力強化
- 道内のヘルスケア関連企業等を掲載したガイドブック作成・配付による道内企業PR

#### 販路拡大

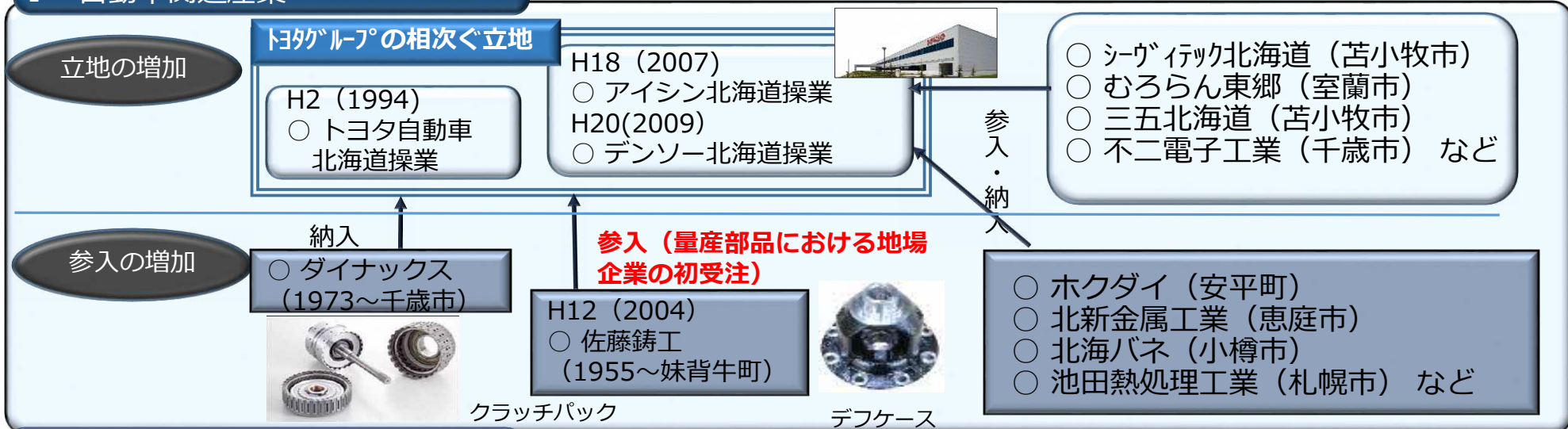
- 北海道医療機器関連産業ネットワークとの連携による道外展示会への出展（2020.11 HOSPEX Japan2020ほか）
- 道内理工系大学の研究シーズ集作成による魅力ある研究内容PR



「北海道 健康・医療研究シリーズ」

# 3 ものづくり産業の集積事例（自動車、健康長寿分野）

## I 自動車関連産業



## II 健康長寿関連産業

### 新規参加の動き

- 中央精工(株) (旭川市 精密機械加工)  
旭川医科大学との連携により、移植用臓器保存装置を開発中。  
自社製品として販売するためには、① 当該製品の「製造販売の承認」と、② 会社として「医療機器製造販売業の許可」を得ることが必要。



開発中の腎臓用灌流保存装置

### 立地企業と道内企業との連携の動き

- (株)ユニシス (北広島市 医療用特殊針製造 本社：東京都)  
頭蓋骨内の圧力を下げる髄液排出器具を開発中。道内ものづくり企業の既存技術と設備を活用することにより、短期間で低コストの開発を目指す。



開発中の髄液排出器具のイメージ

### （参考）空知地域（旧産炭地域）における地域産業

- ✓ 1970年代～炭鉱の閉山相次ぐ (1995空知炭鉱閉山)
- ✓ 人口減少・過疎化の進展  
1965年約35万人  
→2018年約5万人  
(空知管内産炭地6市町)

1971  
○ エースラゲージ (赤平市) 操業



医療用部品

スーツケース部品納入  
1974 ○トルク精密工業操業 (赤平市)



自動車部品

な可能強技術  
分野能化力  
への性により  
進の高、提  
出い出案力  
様成力  
々長

- 北日本精機 (1969～芦別市)  
→小型ボールベアリングのシェア世界トップクラス
- 北海道住電精密 (1980～奈井江町)  
→世界の工場で用いられる交換式超硬工具
- いたがき (1982～赤平市)  
→E-1の修理工場からスタート
- ソメスサドル (1964～歌志内市)  
→日本で唯一の馬具メーカー

高い品質と信頼  
性を獲得し、世  
界に誇るブラン  
ドへ成長

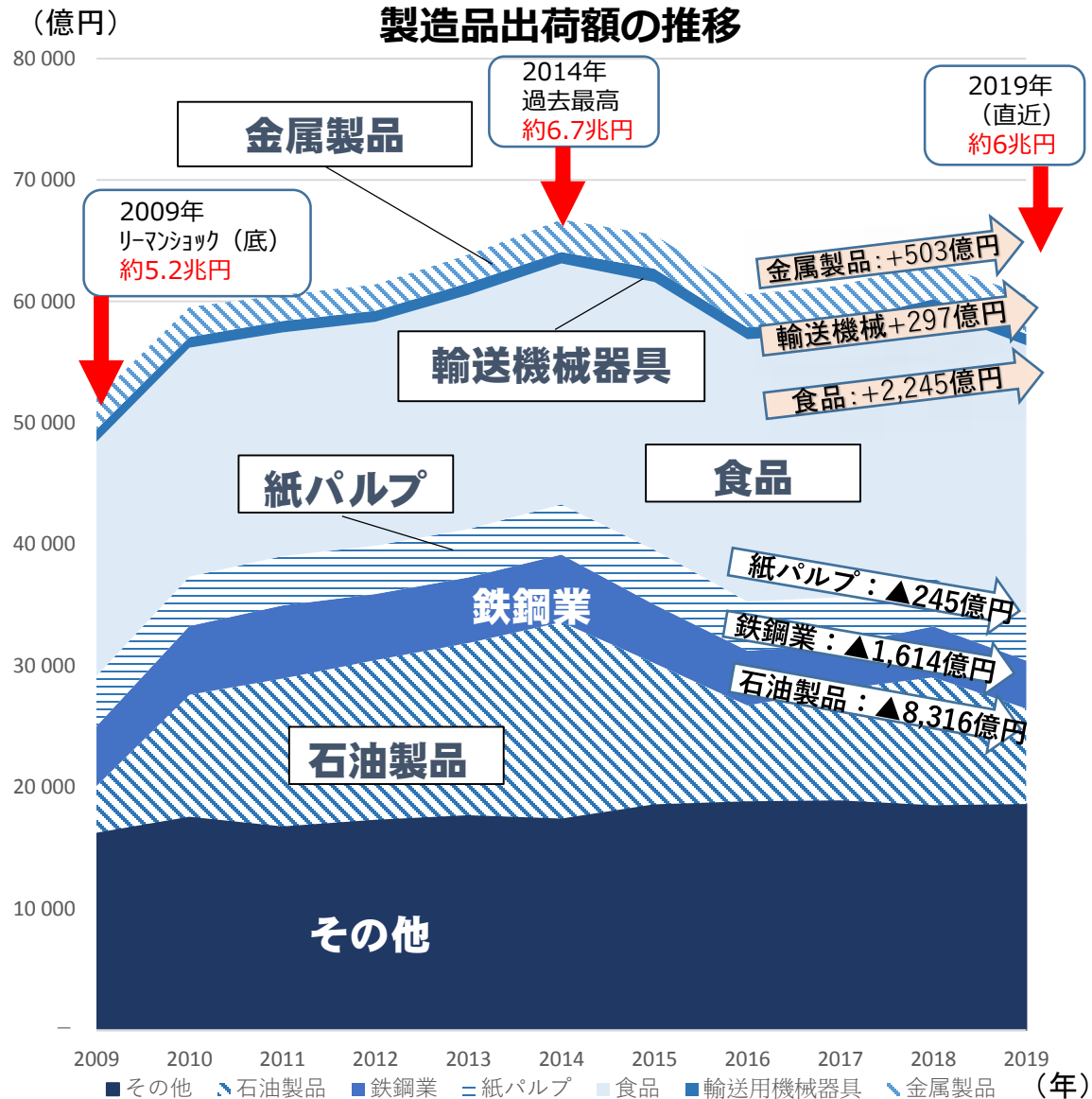
## 4 製造品出荷額の推移

■本道の製造品出荷額のピークはH26年（2014年）の6.7兆円

- ・リーマンショックの底であるH21年（2009年）と比較すると、増加要因は石油製品（+1.2兆円）によるもの。
- ・当時の原油高が寄与。

■直近であるR元年（2019年）は6.0兆円

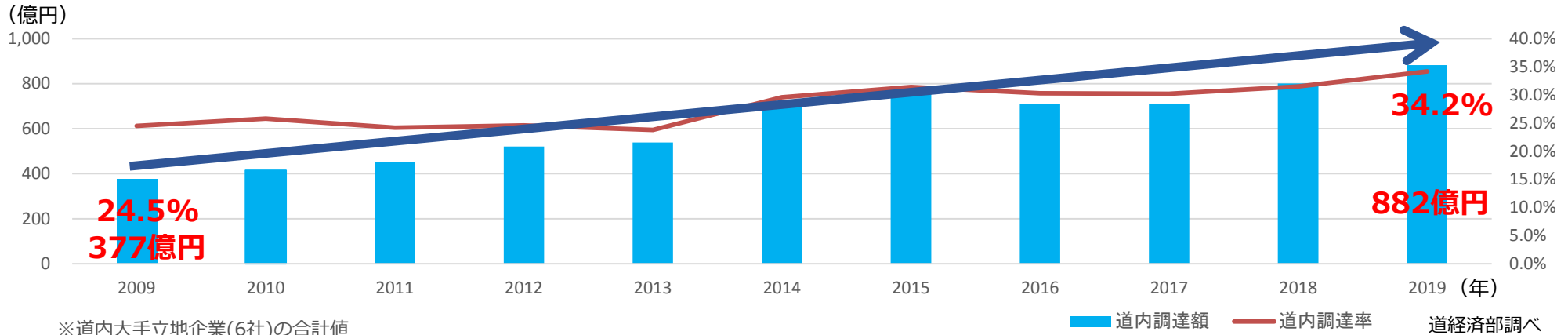
- と、ピークに比べ、7,000億円の減少
- ・減少要因は、構造的に国内需要が減少している石油製品（▲8,316億円）、鉄鋼業（▲1,614億円）、紙パルプ（▲245億円）の減少（計▲1兆175億円）が大きい。
- ・一方、食品（+2,245億円）、金属製品（+503億円）と輸送用機械器具（+297億円）の3業種は増加している。



## 5 個別業種の動向、自動車の道内調達状況

- 自動車部品等の道内調達は、令和元年度（2019年度）に過去最高を記録。
- 食関連機械を含む「生産用機械」の出荷額が増加。

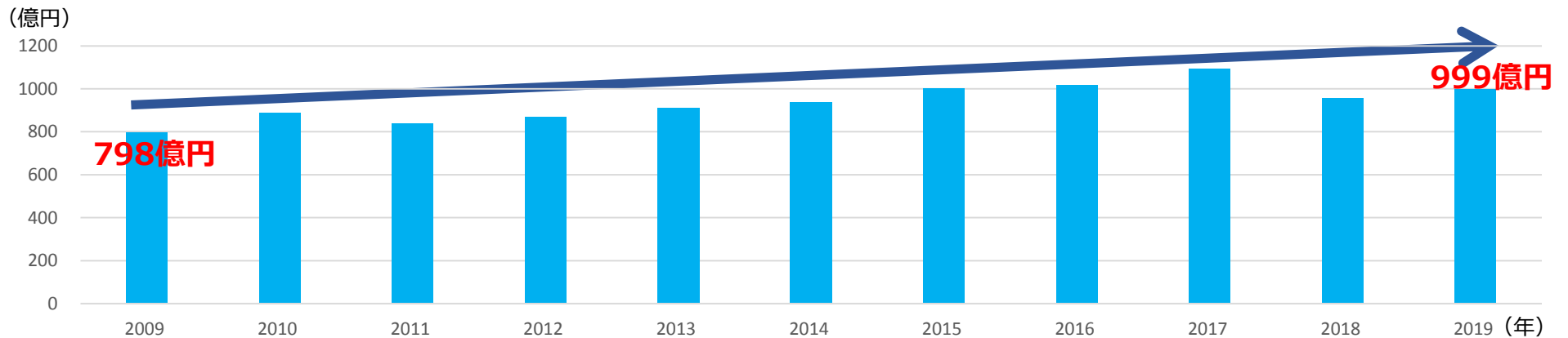
### ■ 自動車部品等の道内調達状況（部品+設備等の合計）



※道内大手立地企業(6社)の合計値

トヨタ自動車北海道、デンソー北海道、アイシン北海道、パナソニックスイッチングテクノロジーズ、ダイナックス、いすゞエンジン製造北海道

### ■ 食関連機械を含む「生産用機械」の出荷額の推移



工業統計調査（経済産業省）より道経済部作成